

令和 2 年度神奈川県教育委員会表彰（神奈川県学校給食優良学校等表彰）について

令和 2 年度神奈川県教育委員会表彰（神奈川県学校給食優良学校等表彰）について、神奈川県教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第 2 条第 2 項の規定により事務を臨時に代理し、次のとおり被表彰校を決定しましたので、同規則第 2 条第 3 項及び教育委員会の指示事項の 1 の（3）の規定に基づき報告します。

令和 2 年 9 月 1 日提出

神奈川県教育委員会
教育長 桐 谷 次 郎

令和2年度神奈川県学校給食優良学校等表彰被表彰校一覧

1 令和2年度神奈川県学校給食特別優良学校（2校）

学 校 名	学級数	概 要
横浜市立大岡小学校	24	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育目標である「ともに学びをきりひらいていく子どもの育成」の具現化のため、「好き嫌いや偏食を減らし、横浜産の食材や食事のマナーを知り、よりよい食べ方ができる児童の育成」を食育目標として、学校教育活動全般を通した指導をきめ細かく行っている。 ○ 長年にわたり、毎年全国的な研究発表会を実施しながら、子どものための研究として、生活科・総合的な学習の時間を中心にカリキュラムマネジメントや1時間の授業の在り方について検討を進め、食育の推進に力を入れている。 ○ 特色ある給食では、仲良し縦割り給食、学援隊給食などを行い、様々な行事や体験を取り入れた活動を進めており、給食時間においては、栄養教諭が計画的に学年に合わせた指導を行うことで全校への食育の波及効果を広げている。
横浜市立間門小学校	24	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育目標である「健康を見つめ・つくる子 活かし・広げる子」の具現化のため、「体」については、「自他の生命を尊び、自らの体をみつめ、進んで健康な体づくりに取り組む姿勢を育てます」としており、これを受けて低中高学年別に学校給食目標を設定している。 ○ 長年にわたり体育・健康教育の研究発表会を実施しており、本牧漁港を有する地域との結びつきも強く、海水水族館を持つ学校としても知られている。 ○ 特色ある給食では、地元の本牧神社と蕎麦屋さんと児童が考案した「お馬流し給食」、児童が考えた「落語給食」、地元の漁師さんと連携した「あなご天丼」など、地域性や児童のアイデアを生かした独自献立等も実施している。

2 令和2年度神奈川県学校給食優良学校（3校）

学 校 名	学級数	概 要
相模原市立若松小学校	14	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校給食目標として「食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する」、「心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身につける」、「各地域の産物、食文化や食に係わる歴史を理解し、尊重する心をもつ」を掲げ、低学年、中学年、高学年の発達段階に合わせた給食指導内容を設定し、児童が自主的に食について考えられるよう指導を行っている。 ○ 特色ある給食として、郷土料理や地場産物を活用した献立作成や、相模原市のイベント給食（はやぶさ給食・さがみはら大好き給食・せつぶん豆まき給食）を実施した。 ○ 給食委員会児童による献立に関連したクイズや献立説明を給食時間に校内放送で毎日実施している。
小田原市立片浦小学校	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校給食目標として「将来に向けて、正しい食事のマナーを身につける。」「食事や健康の大切さを正しく理解し、望ましい習慣をつける。」「給食を通して、食べ物や食に携わる人たちへの感謝への気持ちを育てる。」を掲げ、巡回指導や給食食材を活用した体験学習等を通じて積極的に指導に取り組んでいる。 ○ 特色ある給食として、学校農園で収穫した農産物や旬の地元食材を積極的に活用しているほか、市内産の米を使用した自校炊飯を市内で唯一実施している。 ○ 担任と栄養教諭でコンビを組み、学年に応じたテーマに沿って食育寸劇を行ったり、調理員のみじん切りなどの技を実際に見てもらうことで、児童が楽しみながら食に興味を持てるような工夫を行っている。

学 校 名	学級数	概 要
神奈川県立三ツ境養護学校	48	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校給食目標として「摂食機能や食事の際の安全な姿勢、食器具の扱い等を身につける」を掲げ、教員だけでなく栄養教諭や養護教諭、自立活動教諭（理学療法士、看護教諭）、給食介助員等、多職種が連携し、望ましい食習慣や、食事を通した人間関係形成能力の育成等、主体的に生きるための食育を実施している。 ○ 特色ある給食として、校内の畑で栽培収穫した野菜を使った給食の実施や、栄養バランスや食品を選択する能力を養う「リクエストメニュー」や「セレクト給食」、地場産物を活用した「瀬谷ブランド給食」など様々な給食提供を行っている。 ○ 個々の障害の特性に応じた食形態や食器具、アレルギー対応を行い、安全な食事提供をしつつ、生徒本人に対しても卒業後の食事管理について指導している。

神奈川県学校給食優良学校等表彰の概要

1 趣旨

学校給食の普及と充実を図るため、学校給食実施上優れた成果をあげてきた学校及び共同調理場を学校給食優良学校等として表彰する。

2 開始年度

昭和31年度

3 表彰の対象

学校給食法（昭和29年法律第160号）に基づく学校給食（完全給食）を実施している義務教育諸学校及び義務教育諸学校の学校給食の業務を行っている共同調理場とする。

ただし、文部科学大臣表彰学校給食優良学校等として過去10年以内に表彰されたことのある学校等は除く。

4 表彰の基準

○ 表彰校数は、完全給食実施校のおおむね100校に1校、共同調理場にあつては、20場に1場の割合とする。

○ 学校教育活動全体の中で、学校給食の運営体制が整備され、そのもとに食育指導、栄養管理、衛生管理が適切かつ、学校や共同調理場独自の創意工夫による取組により実施され、その教育的効果が顕著であることが認められるなど、県内で他の学校等の模範となるものであること。

なお、共同調理場については、以上のほか労働安全に万全を期し、作業効率を高める業務運営を図り、また、学校への配送等に当たっては適切な配慮をするなど、学校との相互連携により実施していること。

5 被表彰校の一覧（過去10年間）

別紙1「神奈川県学校給食優良学校等表彰受賞校一覧」のとおり

6 審査手続及び今後の予定

別紙2「神奈川県学校給食優良学校等表彰の審査手続について」のとおり

(別紙1)

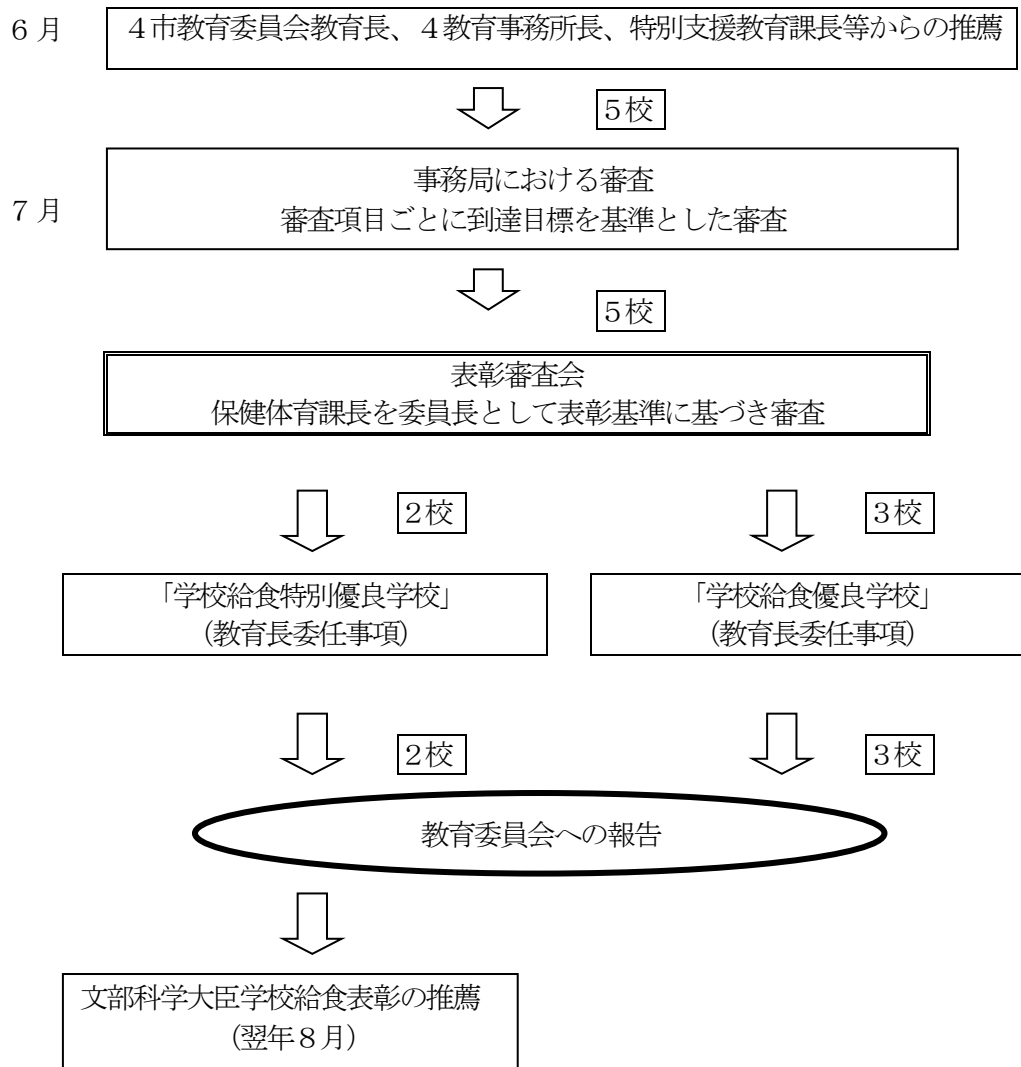
神奈川県学校給食優良学校等表彰受賞校一覧<過去10年>

区分	神奈川県表彰受賞校等											
	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	湘南三浦	県央	中	足柄上	足柄下	私学	県立	共同調理場
22		御幸小	中央小	大塚台小		上依知小 (厚木)	花水小 (平塚)				平塚養護	
23						依知小 (厚木)	崇善小 (平塚)				金沢養護	学校給食 センター (清川村)
24			大野北小			小鮎小 (厚木)	桜台小 (伊勢原)				平塚ろう	
25	名瀬小	王禅寺中央小	夢の丘小			飯山小 (厚木)	松延小 (平塚) 本町小 (秦野)				瀬谷養護	
26	上菅田小			諏訪小	汐見台小	清水小	富士見小	県西 三の丸小			座間養護	
27	上寺尾小		大沼小	武山小			勝原小 (平塚)				高津養護	
28	嶮山小		相武台小	鷹取小		厚木小 (厚木)	港小 (平塚)				横浜ひなたやま支援	
29	日枝小		光が丘小	望洋小		半原小 (愛川)	山下小 (平塚)				中原養護	
30	いぶき野小		清新小	走水小							小田原養護	
R1	宮谷小		上溝南小	池上小		荻野小 (厚木)					瀬谷養護	

はその年度の学校給食特別優良学校等

神奈川県学校給食優良学校等表彰の審査手続について

1 審査手続



2 表彰式

令和2年度神奈川県学校保健・学校安全・学校給食表彰式（令和2年11月8日）にて表彰予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、式典は中止とし、表彰状については、各市町村教育委員会等を通じて学校に伝達する。